



令和2年度 渋谷区立渋谷本町学園 学校評価まとめ

実施目的

「渋谷区立学校 学校評価実施要綱」に基づき、本校が組織体として、その機能をどの程度果たしたかを総合的・客観的に評価し、その結果にもとづいて建設的な改善策を立て、来年度の教育活動の充実・向上を図る。また、保護者・地域住民等の理解と参画を得て、連携協力による学校づくりを進めていくために、その結果を公表・報告する。

実施期間：令和2年11月

保護者・地域：457名（回答数）

実施方法：無記名方式（Home&Schoolおよび紙による）

公開方法：学校評価委員会を経て、区に報告および本校HPにて公表
保護者会等において結果および今後の方向性説明

令和2年度 学校評価（渋谷区共通）集計

カテゴリー	No	項目	肯定的回答率	カテゴリー率
学校の様子	1	学校は、生徒が明るく、落ち着いたよい雰囲気になっていますか。	76%	76%
教育活動と 子供の様子	2	学校は、内容が理解できるように授業を工夫していますか。	67%	69%
	3	学校は、生徒に他者理解や思いやりの心を育てる教育をしていますか。	65%	
	4	学校は、授業以外の教育活動に熱心ですか。	73%	
教職員 について	5	教職員は生徒のことをよく理解しようとしていますか。	80%	79%
	6	教職員は、様々な事柄について、迅速に、誠意をもって対応していますか。	79%	
教育環境整備 について	7	学校は、生徒の安全に対する配慮をしていますか。	92%	91%
	8	学校には、教育に必要な施設・設備が整っていますか。	90%	
家庭・地域 との連携	9	学校は、教育の方針を分かりやすく伝えていきますか。	82%	73%
	10	学校は、家庭・地域の協力を得て、教育活動を推進していますか。	64%	

令和2年度 自由意見から

1 学校全体に関わる意見①

(1) 運動会の代案行事について

①全保護者が参観できない。

→10月から11月のコロナ状況が不透明な中、健康・安全確保の観点で入場者を制限させていただきました。お子様の活躍を楽しみにされていた皆様にご迷惑をおかけしました。

②連絡が遅い。

→今年度は中止ではなく代替案を児童・生徒とともに考え、実施に向けギリギリまで判断を延ばした関係でご案内が遅れ、誠に申し訳ありませんでした。

③ビデオがわかりづらい

→教員の数や学校にある機材が不十分で大変ご不便をおかけしました。

★今後は形態を変えてご参観いただけるよう改善していきます。

令和2年度 自由意見から

1 学校全体に関わる意見②

(2) 学校の状況をもっと知りたい

①土曜日授業がなく、授業の様子がわからない

→学校でのお子様の様子を見ていただこうと計画するも、世の中の情勢が不安定になり、残念ながら見送らせていただきました。次年度は土曜日授業等を条件付きで公開する予定です。

②onlineで保護者会を開催してほしい

→前向きなご意見をいただきありがとうございます。今年度は全家庭の通信状況が確認できませんでした。次年度以降は渋谷区のシステムを使って導入していきます。

③参観の機会を増やしてほしい

→今年度はご理解とご協力をいただきありがとうございました。次年度は状況を鑑み、参観の機会を増やすと同時に、学校の様子を各種通信やHome&Schoolで配信します。

令和2年度 自由意見から

1 学校全体に関わる意見③

(3) 小中一貫教育校の特色がよくわからない

①交流を増やしてほしい

→従来の素晴らしい活動もコロナで中止しました。一方で生徒会が自発的に小学校の入学式に花を添えたり、動画でメッセージを送るなどの工夫をしました。今後も交流を深めます。

②何をやっているかよくわからない

→今年度は発信できる活動が少なかったため、次年度は様々な活動を意義あるものにし、その活動をホームページ等でもお知らせします。今後もあたたかく見守り、応援をお願いします。

③教員の意識の向上

→今年度の教職員向けのアンケートでは半数以上が「もっと交流を深めることができる」と回答しました。今後さらに研修を深め、新たな取組に挑戦し、皆様に発信していきます。

令和2年度 学校評価の傾向

2 教務に関すること

(1)学校からのお知らせがバラバラでわかりづらい

→従来の紙に加え、教育委員会メール、ホームページさらに9月に導入されたHome&Schoolと非常に煩雑となり、ご面倒をおかけしています。ご家庭の事情で、電子媒体の加入が100%でないための対応となります。Home&Schoolへの登録をお願いします。

(2)授業がわかりづらい。宿題の量を考えてほしい

→「わかりやすい」との声がある一方での声はしっかり受け止め、基礎・基本の徹底と発展的な学習の推進に向けた授業改善を図ります。ICTだけでなく紙を用いた学習も含め、効果的な指導をします。また質問にいていないに答える場を設定します。宿題の量も考慮して出します。

令和2年度 学校評価の傾向

3 生活指導に関すること

(1)子どもの実態に合わせ寄り添った対応・指導

→コロナ禍の防寒対策を含めた服装指導は柔軟に対応します。お知らせでご確認ください。「自粛生活等による心の不安に寄り添ってほしい」との声には日常的な声かけや意識調査を行い、子供の把握に努めます。家庭とも連携していきます。子供に対する教員の人権研修も強化していきます。

(2)部活動について

→中学校の規模では多い10の部活動があり、加入率も8割を超えています。活動時間も見直し、効率を重視した活動を行います。顧問等の指導者は安全管理に努め、限られた状況ですが有意義な活動を展開していきます。最終下校時刻を夏・冬時間を設け、冬時間は30分早く下校します。

令和2年度 学校評価の傾向

4 その他

(1)ICT教育（タブレット）の効果的な利活用

→「コロナで登校できないときのタブレットに期待」や「もっと授業で活用してほしい」に対し「文字や意見を正しく書く力の育成」「入試でも対応できる紙の上での学力を高めてほしい」意見があります。学校は今後も研修を重ね、双方の良さを取り入れた授業や課題を出していきます。合わせてタブレット学習状況を教員が把握し、次の学習指導に生かしていきます。

(2)タブレット環境の整備等

→休校期間中、通信状況が不安定であったことや、保護者の皆様のご協力を得なければできなかったことなど、大変ご迷惑をおかけしました。また今年度、不注意で多くのタブレットが破損しました。機器を大切に扱うようご指導ください。

令和2年度 学校評価「総括と今後の方向性」

Accomplishment～成果～

コロナ禍における柔軟な対応

- ・区全項目で90%の中学生が満足
- ・学校の配慮に感謝の声多数

コロナ対応

- ・区内最早学校再開（学力と心のケア）
- ・コロナ禍で校庭開放実施（体力回復）

相次ぐ行事中止での児童・生徒の活躍

- ・地域と共に不動通りパレード実施
- ・地域運動会ボランティア、都・区表彰

教職員の小中一貫への意識と組織力向上

- ・小中一貫校としての取組意欲向上
- ・小中合同の自主的なICT活用研修 等

SHGだからできる落ち着いた学校生活

- ・小中一貫校の安心感と信頼の声多数
- ・常に学園全体に模範を示した9年生

Issue～今後に期待すること～

学校の特色のさらなる充実

- ・小中一貫教育校の抜本的見直し
- ・英語教育とシブヤ科の推進

学びの系統性・充実

- ・3部制（初・中・高等部）再開
- ・小中および3部の相互交流の充実

主体性と魅力ある学校生活

- ・児童・生徒と共に築く英語教育
- ・学校行事の抜本的な見直しと充実

学校からの情報発信

- ・わかりやすさ、手段、時期の改善
- ・PTAと連携したホームページ改良

地域力を生かした学校支援

- ・PTAによるキャリア教育の支援
- ・学校運営協議会による学校支援強化



令和3年度 渋谷本町学園の基本的な考え方



抜本的な見直し

- ・ 教育目標の改訂：わかりやすさ→常に目標を意識した教育活動の展開
- ・ 主な変更点：3部制・教科担任制・授業時間・学校行事・標準服見直し等



学力と生活力の育成

- ・ 学力：主体的な学習姿勢・授業規律と学習習慣・オリパラ教育・シブヤ科等
- ・ 生活力：体力向上・健康保持・道徳教育・部活動・ボランティア活動等



渋谷本町学園

小中一貫教育校としての活動

- ・ 小中教員の相互授業・新たな取組の創造・職員室内配置変更・効果検証等
- ・ 学校運営協議会との連携強化・PTAと連携したキャリア教育、HP充実等